

BLCJ 構造標準<改訂 4 版>発行にあたり

BLCJ 建築部会 構造 WG では、2021 年 3 月に発行した BLCJ 構造標準<令和 2 年度版>から 2022 年 3 月に発行した BLCJ 構造標準<改訂 3 版>までの間に、これまで 3 回発行し、RC 柱、梁、S 造柱、梁、床、壁、基礎、場所打ち杭のパラメータの標準化を行った。

公開後 BLCJ 構造標準は、建築確認における BIM 活用推進協議会 (<https://www.kakunin-bim.org/>) に参照され、建築確認における BIM 活用推進協議会 令和 3 年度 検討報告書として活用されるに至った。

しかしながら、これまでの BLCJ 構造標準は仕様書として属性情報を記述するに留まっていたため、その属性の意味を一般社団法人 buildingSMART Japan の公開する ST-Bridge など、一定の知識が無ければ理解することが難しい状況でもあった。

今回の改訂では、これまで同様に表形式での BLCJ 構造標準の他に、BLCJ 構造標準仕様解説書を発行することで、その属性の意味を理解し易くするよう努めた。

同時に、属性情報の見直しを行い、一部のパラメータの修正と表現の統一を行い、これを改訂 4 版として今回発行する。